



First Friends Animal Safari Set

動物、自然保護区のレンジャー、柵を使って、分類したり、数えたり、組み合わせたりします。生息環境・大きさ・食性による分類、初歩的な算数の力、ごっこ遊びを支えます。

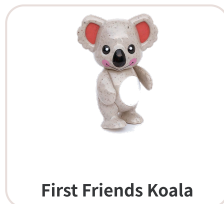
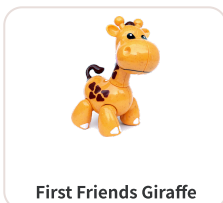
内容

動物15頭、クアッドバイク、フィギュア2体、柵、えさ箱、干し草の俵

対象市場

家庭・教育の両方

■ セットの内容



■ 子どもが学ぶこと



分類

わかりやすいルール、与えられたルール、そして子どもが考えたルールで分けます。



はじめての数

群れと足を数えます。干し草を公平に分けます。



世界を知る

暑い場所と寒い場所。出会えるのはどの動物で、決して出会わないのはどれ？



言葉

名前、鳴き声、しま模様、斑点、長い鼻、育児袋、しっぽ。



お世話と責任

レンジャーはえさと水をあげ、柵を直します。動物は世話をしてくれる人に頼っています。



社会的な関わりを伴う遊び

1人にレンジャーのフィギュアを1体ずつ渡し、仕事を分担します。柵を直すのは誰でしょうか？

■ ひとつのセットで5年間遊べる

1〜2歳

動物を握り、鳴き声をまね、クアッドバイクを押し、頭をカチッと動かす

2〜3歳

5、6頭の動物の名前を言い、柵の中に入れ、えさ箱でえさをあげる

3〜4歳

大きさ、足の数、色で分類し、グループの動物を数え、友だちとレンジャーごっこをする

4〜5歳

自分で分けるルールを考えて、その理由を説明し、それぞれの動物がどこから来たかを説明する

■ はじめの日に試す

🗨️ だれの声？

12〜30か月・動物の声をまねします。子どもは動物を見つけられる？ 次は交代します。

🐾 動物にえさをあげよう

18か月〜3歳・干し草の俵を積んで、クアッドバイクでパークを一周します。動物のところで止まって、えさをあげます。

🗺️ パークを分けよう

2〜4歳・大きさ、足の数、色、しま模様などのルールに従って、動物を囲いごとに分類します。その後、ルールを変えます。

■ テーマ

野生動物

すみか

暑い場所と寒い場所

動物の福祉

分類

数えることと分け合うこと

